

講 義 要 項

授業科目		栄養・代謝学		担当者	岡元 理恵
区分	単位数	時間数	授 業 形 態		履修年次・前/後
	2 単位	45 時間	講義・演習・DVD・その他		1 年次・前期
授業目標	1. 看護の実践活動で大切な役割を担っている「人間栄養学」（目の前の人間を見て、健康・栄養状態を考えること）の修得の為、栄養代謝の基礎的知識を身につける。				
授業内容	<div><div><div>1. 栄養と栄養素</div><div>2. 糖質の種類とはたらき</div><div>3. 脂質の種類とはたらき</div><div>4. タンパク質の種類とはたらき</div><div>5. ビタミンの種類とはたらきⅠ</div><div>6. ビタミンの種類とはたらきⅡ</div><div>7. ミネラル・食満繊維の種類とはたらきⅠ</div><div>8. ミネラル・食満繊維の種類とはたらきⅡ</div><div>9. 食物の消化</div><div>10. 栄養素の吸収</div><div>11. 栄養素の代謝</div><div>12. エネルギーの代謝Ⅰ</div><div>13. エネルギーの代謝Ⅱ</div></div><div><div>14. テスト前復習、夏季休暇前試験・解答</div><div>15. 単位修得試験・糖尿病について</div><div>16. 糖尿病の食品交換表の使い方Ⅰ</div><div>17. 糖尿病の食品交換表の使い方Ⅱ</div><div>18. 自分のエネルギー摂取量の計算・単位配分</div><div>19. 自分のエネルギー摂取量の計算・単位配分から献立作成Ⅰ</div><div>20. 自分のエネルギー摂取量の計算・単位配分から献立作成Ⅱ</div><div>21. 塩分計算・常食から特別食への展開</div><div>22. 特殊食品の紹介・体験等</div><div>23. 単位修得試験</div></div></div>				
参考文献等	1. 系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能（3），栄養学，医学書院. 2. 系統看護学講座 別巻 栄養食事療法 3. 糖尿病食事療法のための食品交換表，日本糖尿病学会編 4. オールガイド食品成分表，実教出版.				
評価	1. 単位修得試験 2. 出席状況 3. 提出物				
備考	実務経験：管理栄養士として豊富な実務経験を活かした授業を行う。				